



バージョン 17

デプロイメントガイド

年間ライセンス版：Windows

「真の発見の旅とは、新しい風景を探すことではなく、
新たな視点を持つことである。」

マルセル・プルースト

JMP Statistical Discovery LLC
SAS Campus Drive
Cary, North Carolina 27513-2414

2022 年 10 月

The correct bibliographic citation for this manual is as follows: JMP Statistical Discovery LLC 2022. *JMP® 17 Deployment Guide for Annually Licensed Windows Versions*. Cary, NC: JMP Statistical Discovery LLC

JMP® 17 Deployment Guide for Annually Licensed Windows Versions

Copyright © 2022, JMP Statistical Discovery LLC, Cary, NC, USA

All rights reserved. Produced in the United States of America.

JMP Statistical Discovery LLC, SAS Campus Drive, Cary, North Carolina 27513-2414.

目次

デプロイメントガイド 年間ライセンス版：Windows

| | |
|------------------------|----|
| 1 インストール | 4 |
| インストール用ファイルの提供 | 4 |
| ライセンス情報 | 5 |
| JMP のインストール準備 | 6 |
| ライセンス管理 | 6 |
| JMP のインストール | 6 |
| ソフトウェアデポにカスタムファイルを追加する | 7 |
| インストールオプション | 8 |
| サイレントインストール | 8 |
| JMP 初回起動時の操作 | 9 |
| 2 更新とアップグレード | 10 |
| JMP のライセンスの更新 | 10 |
| 3 FAQ | 12 |

第 1 章

インストール 年間ライセンス版Windowsバージョン

本ガイドは、JMP、JMP Pro、JMP Clinical のバージョン 17 用です。このガイドでは、表記を簡潔にするために、JMP、JMP Pro、JMP Clinical の総称として「JMP」という名称を使用しています。古いバージョンを使用している方は、該当するバージョンのデプロイメントガイドを参照してください。

このガイドでは、Windows 用の年間ライセンス版 JMP のインストール、デプロイメント、ライセンス情報の更新について解説しています。年間ライセンス版の JMP は、契約期間終了時に使用期限が切れるライセンス情報によって保護されているバージョンです。このバージョンは、適切かつ有効なライセンスファイルがなければ動作しません。このファイルにより、ライセンス期限日に契約更新の猶予期間を加えた期限まで JMP が動作可能となります。

JMP の新規契約時に必要な作業の流れは、以下のとおりです。

1. JMP インストールファイルの入手。詳細については、「[インストール用ファイルの提供](#)」を参照してください。
 2. ライセンスファイルの確認（オプション）。詳細については、「[ライセンス情報](#)」を参照してください。
 3. インストールファイルの準備。詳細については、「[JMP のインストール準備](#)」を参照してください。
 4. 必要に応じてライセンスファイルの場所をユーザに通知。詳細については、「[ライセンス管理](#)」を参照してください。
 5. インストールファイルの場所をユーザに通知。詳細については、「[JMP のインストール](#)」を参照してください。
 6. 各ユーザによる、JMP のインストールと起動。詳細については、「[JMP 初回起動時の操作](#)」を参照してください。
- 管理者がどのようにライセンスを準備したかにより、ユーザが、JMP の初回実行時に SAS インストールデータ（SID）ファイルまたは JMP.PER ファイルの場所を指定しなければならない場合があります。

JMP のデプロイメントの前に、jmp.com/administrator にある追加情報もご確認ください。

インストール用ファイルの提供

インストール用ファイルは、SAS から次のいずれかの方法で提供されます。

- ESD (Electronic Software Delivery: ダウンロードによるソフトウェアの配布)
- DVD メディア

これらに含まれる一連のインストール用ファイルをソフトウェアデポと呼んでいます。

どちらがよいか、必要に応じて、JMP のアカウントマネージャにご相談ください。どちらの方法でファイルを受け取られても、構成は同じです。ファイルをダウンロードする場合の方法に関しては、SAS から送られる Software Order Email (ダウンロードに必要な情報のメール) を参照してください。ESD のダウンロードは 2 回までしかできないようになっています。

ライセンス情報

JMP を実行するには、有効なライセンスファイルが必要です。ライセンスファイルは JMP のインストール時に作成される JMP.PER という名前のファイルです。JMP.PER ファイルを作成するのに必要なデータは、SAS インストールデータ (SID) ファイルと呼ばれるテキストファイル内にあります。SID ファイルは、ソフトウェアデポ内の「sid_files」フォルダにあります。

JMP では、バージョンによってライセンスファイルの中身が異なるため、メジャー・バージョン (バージョン番号「#.0」) ごとにライセンスファイルが必要です。ライセンスファイルは、メジャー・バージョンが同じであれば、後に続くメンテナンスリリース (バージョン番号「#.#」) のすべてに有効です。

JMP.PER は、JMP のインストール中またはライセンスの適用時に作成された場所に保管しておくことをお勧めします。ただし JMP では、すべてのユーザがアクセスできる 1 つの場所に JMP.PER を保管することも可能です。詳細については、「[ライセンス管理](#)」を参照してください。

JMP は、起動のたびに JMP.PER を読み込み、JMP.PER のすべての行を確認します。また、オペレーティングシステムも確認します。Windows 用の JMP.PER は macOS で使用できず、macOS 用の JMP.PER は Windows で使用できないためです。

ライセンス期限日付

新規ご契約の場合、媒体に含まれているライセンスは、約 90 日後に期限が切れる場合があります。その場合、後日新しい SID ファイルが SAS から電子メールで送られます。SAS から新しいライセンス (SID ファイル) を受け取ったら、元のインストール用ファイルの中にある SID ファイルを、SAS から受け取ったファイルに置き換えてください。その後のすべてのインストールで確実に新しいライセンスが使用されるようになります。すでにインストールされた JMP についてもライセンスを更新する必要があります。詳細については、「[JMP のライセンスの更新](#)」を参照してください。

ライセンスの猶予期間は、90 日です。そのうち 45 日を過ぎると、JMP を起動するたびに、ライセンスの更新を促すメッセージが表示されるようになります。猶予期間が過ぎると、新しいライセンスを取得しない限り JMP は起動できません。

JMPのインストール準備

JMPのインストール用ファイルを、次のいずれかの方法で準備します。

- ソフトウェアデポまたはオリジナルのDVDからすべてのファイルを共有ネットワーク領域にコピーする。すべてのユーザがその1つの場所からJMPをインストールできるようになります。
- ソフトウェアデポまたはオリジナルのDVDからすべてのインストール用ファイルをDVDにコピーし、そのディスクを各ユーザに配布する。
- オリジナルのDVDを各ユーザに順に廻す。

ライセンス管理

JMPインストーラは、ソフトウェアデポ内の `sid_files` フォルダにある SID ファイルを元に JMP.PER ファイルを作成します。この JMP.PER ファイルは、JMP インストールフォルダに保存されます。

インストール中にライセンス情報が見つからなかった場合、ユーザは JMP を初めて起動するときにライセンスファイルの場所を指定するよう促されます。ここで、JMP.PER ファイルまたは SID ファイルのいずれかを指定する必要があります。JMP.PER ファイルを指定した場合は、ファイルの現在の場所が保存され、JMP の起動時に毎回そのファイルが確認されます。SID ファイルを指定すると、JMP.PER ファイルが作成され、保管場所の指定を促すメッセージが表示されます。

なお、1つの JMP.PER ファイルを安全な共有ネットワーク上の場所に置き、すべてのユーザがそのファイルを使うようにすることもできます。その場合は、各ユーザが、JMP の初回起動時にその JMP.PER ファイルを選択します。

JMPのインストール

メモ：JMPをインストールする各ユーザは、そのコンピュータ上で管理者権限を持っていなければなりません。

JMP管理者は、インストール用ファイルの場所をユーザに通知する必要があります。ライセンスの配置の方法により、必要な場合はライセンスファイルの場所も合わせてユーザに通知します。ソフトウェアデポには、JMP のインストールに必要なインストーラファイルが含まれています。JMP、JMP Pro、JMP Clinical はそれぞれ別のソフトウェアデポに保管されます。ソフトウェアデポには、オペレーティングシステムと JMP のバージョンに基づいたインストーラ用のフォルダ構造があります。

JMP、JMP Pro、JMP Clinical のバージョン 17.x のインストーラを起動するファイルは以下のとおりです。

| | |
|--------------|---|
| JMP | <SAS Software Depot>/JMP/JMP/17_x/Windows/jmp_17xx_win.exe |
| JMP Pro | <SAS Software Depot>/JMP/JMP_Pro/17_x/Windows/jmppro_17xx_win.exe |
| JMP Clinical | <SAS Software Depot>/JMP/JMP_Clinical/17_x/Windows/jmpclin_17xx_win.exe |

x は JMP、JMP Pro、JMP Clinical のマイナーバージョン番号です。

上記の .exe ファイルを右クリックし、「管理者として実行」を選択して JMP のインストーラを起動してください。

ソフトウェアデポにカスタムファイルを追加する

JMP管理者は、ソフトウェアデポに独自のファイル（カスタムファイル）を追加することができます。JMP インストーラは、インストール中にこれらのファイルをコンピュータにコピーします。ファイルがインストールされたら、JMP はこれらのカスタムファイルを処理します。次の種類のカスタムファイルを追加することができます。

- スクリプト (.jsl)
- 環境設定 (JMP.PFS ファイル)
- アドイン (*.*)
- サンプル (*.*)

カスタムファイルは **custom** という名前のフォルダに保存してください。

1. custom フォルダを次のいずれかの場所に作成します。
 - JMP: <SAS Software Depot>/JMP/JMP/17_0/Windows/custom
 - JMP Pro: <SAS Software Depot>/JMP/JMP_Pro/17_0/Windows/custom
 - JMP Clinical: <SAS Software Depot>/JMP/JMP_Clinical/17_x/Windows/custom
2. custom フォルダ内に、scripts、pfs、samples、というサブフォルダを作成します。ファイルはこれらのフォルダからコピーされます。

メモ：addons フォルダや samples フォルダにサブフォルダがある場合は、それもコピーされます。

インストーラによって、custom ファイルが次のいずれかの場所にコピーされます。

- JMP:C:/ProgramData/SAS/JMP/
- JMP Pro:C:/ProgramData/SdAS/JMPPRO/
- JMP Clinical:C:/ProgramData/SAS/JMPClinical/

メモ：スクリプト、サンプル、および環境設定ファイルは、バージョン番号を名前とするフォルダに保存されます。アドインは addons という名前のフォルダに保存されます。

インストール用ファイルが DVD でのみ提供され、ソフトウェアデポをダウンロードしていない場合は、DVD の内容をすべて編集可能な場所にコピーする必要があります。そうすれば、その場所が <SAS Software Depot> として扱われます。そこにファイルを追加すれば、それらのファイルがインストール時にコピーされます。

インストールオプション

インストーラを起動すると、インストールオプションの画面が表示されます。

Excel アドイン

JMP インストーラによって Microsoft Excel 2013、2016、2019、または Excel 365 デスクトップバージョンが検出された場合、Excel アドインオプションが表示されます。このアドインにより、Microsoft Excel と JMP を一緒に使用する際の新しい機能が提供されます。

SAS インテグレーション

- Java Runtime Environment
- インテグレーションのコアファイル

デフォルトでは、これらのオプションは選択されていません。

インストールされた JMP がサーバー上の SAS に接続して処理を行う場合、[SAS インテグレーション] を選択します。

サイレントインストール

サイレントインストールとは、メッセージやダイアログを表示しないインストールプロセスを指します。通常のインストールで表示されるプロンプトへの答えや選択内容をスクリプトに保存し、それを使ってサイレントインストールを行います。JMP で使用している InstallShield® ソフトウェアは、サイレントインストールを行うためのスクリプトの使用をサポートしています。

メモ：サイレントインストールを行う前に、Microsoft .NET 4.8がインストールされていること、その他のシステム要件が満たされていることを確認してください。

JMP 17.x のサイレントインストールを実行するには、次の手順に従います。

1. 応答ファイル（拡張子.iss）を作成する。

– JMP:

```
jmp_17xx_win.exe -r -f1{response filename}
```

– JMP Pro:

```
jmppro_17xx_win.exe -r -f1{response filename}
```

– JMP Clinical:

```
jmpclin_17xx_win.exe -r -f1{response filename}
```

「-f1」とファイル名の間にスペースを入れないこと、L の小文字ではなく数字の 1 であることに注意してください。たとえば、silent.iss という名前のファイルを C:\ に作成する場合、コマンドは次のようにになります：

```
jmp_17xx_win.exe -r -f1c:silent.iss
```

2. 作成された応答ファイルを使って JMP のサイレントインストールを行う。

- JMP:

```
jmp_17xx_win.exe -s -f1{response filename}
```

- JMP Pro:

```
jmppro_17xx_win.exe -s -f1{response filename}
```

- JMP Clinical:

```
jmpclin_17xx_win.exe -s -f1{response filename}
```

「-f1」とファイル名の間にスペースを入れないように注意してください。たとえば、C:\にある silent.iss という名前のファイルを使用して JMP をインストールする場合、コマンドは次のようにになります：

```
jmp_17xx_win.exe -s -f1c:silent.iss
```

JMP 初回起動時の操作

ライセンスファイルがインストール中に適用された場合、その他に必要な処理はありません。

ライセンスファイルがインストール中に適用されなかった場合、ユーザはライセンスファイルを選択するよう促されます。

ユーザが JMP.PER ファイルを指定した場合、JMP.PER ファイルの場所の情報が保存されます。そのため、もし後になって JMP.PER ファイルが移動または削除された場合、ユーザは再度ライセンスファイルを選択するよう促されます。また、JMP.PER ファイルがネットワークドライブに保存されている場合は、そのドライブが利用可能な状態でないと JMP を実行することができません。

ユーザが SID ファイルを指定した場合、JMP はそのファイルを使って JMP.PER ファイルを作成し、ユーザに JMP.PER ファイルの保存場所の指定を促します。

メモ : SID ファイルや JMP.PER ファイルには、テキストエディタで編集できそうなテキストが含まれていますが、絶対に編集しないでください。SID ファイルを変更すると、どのような方法で変更したかにかかわらず、ファイルの整合性が損なわれます。いったん整合性が損なわれると、ライセンスファイルが作成されず、JMP を使用できなくなります。同様に、JMP.PER ファイルを変更すると、ファイルが無効になり、元の SID ファイルを使用して JMP.PER ファイルを作成し直さなければならなくなります。

第 2 章

更新とアップグレード JMP ライセンス

この章では、JMP ライセンスの更新の方法について説明します。ライセンスの更新が必要になると、SAS から新しいライセンスデータをテキストファイルとして添付したメールが届きます。このテキストファイルを保存し、ライセンスの更新に使用します。

JMP のライセンスの更新

ライセンスの有効期限が切れるときには、SAS とのライセンス契約を更新する必要があります。その後 SAS から新しい SID ファイルが電子メールで送られてきます。

SAS から新しいライセンス（SID ファイル）を受け取ったら、元のインストール用ファイルの中にある SID ファイルを、SAS から受け取ったファイルに置き換えてください。その後のすべてのインストールで確実に新しいライセンスが使用されるようになります。

メモ : SID ファイルや JMP.PER ファイルには、テキストエディタで編集できそうなテキストが含まれていますが、絶対に編集しないでください。SID ファイルを変更すると、どのような方法で変更したかにかかわらず、ファイルの整合性が損なわれます。いったん整合性が損なわれると、ライセンスファイルが作成されず、JMP を使用できなくなります。同様に、JMP.PER ファイルを変更すると、ファイルが無効になり、元の SID ファイルを使用して JMP.PER ファイルを作成し直さなければならなくなります。

また、インストールされているすべての JMP でライセンスを更新する必要があります。次の3通りの方法があります。

- SID ファイルをすべてのユーザに配布する。
- 新しい SID から JMP.PER ファイルを作成し、それをすべてのユーザに配布する。
- 共有ネットワーク上にある JMP.PER ファイルのコピーを置換する。

JMP ライセンスの更新

1. JMP を起動します。

メモ : Windows のセキュリティ強化により、管理者モードでないとライセンスを更新できない場合があります。その場合は、デスクトップにある JMP のアイコンを右クリックし、[管理者として実行] を選択してください。

2. ライセンスの更新を促すメッセージが表示されたら、[ライセンスを開く] をクリックしてください。

ライセンスの更新を促すメッセージが表示されない場合は、JMP のスクリプトウィンドウを開き ([ファイル] > [新規作成] > [スクリプト])、次のスクリプトを入力した後に実行します ([編集] > [スクリプトの実行])。

`Renew License();`

3. 下記の手順で、SID ファイルまたは JMP.PER ファイルを使用して更新を行います。

SID ファイルを使用した JMP の更新

1. 表示されたウィンドウで、SAS から電子メールで送られてきた SID ファイルの保存場所へ移動し、ファイルを選択します。
2. [開く] をクリックします。
3. (オプション) 管理者の名前と部門を入力します。
4. [OK] をクリックします。

JMP.PER ファイルを使用した JMP の更新

1. 表示されたウィンドウで、新しい JMP.PER ファイルがある場所まで移動します。
2. [開く] をクリックします。

第 3 章

FAQ

JMP のインストール

この章では、JMP に関する FAQ をご紹介します。

JMP 17 のデスクトップアイコンは自動的に作成されますか。

デスクトップアイコンはデフォルトでは作成されません。デスクトップアイコンを作成するには、インストール ウィンドウの最後の画面で [デスクトップにショートカットを作成] を選択します。

Windows のセキュリティにより、「C:\Program Files」フォルダ内の JMP ファイルを更新することができません。どうすればよいでしょうか。

これは、Windows OS のセキュリティが強化されたために起こる現象です。「Program Files」フォルダ内のファイルを変更するには、管理者モードで JMP を実行する必要があります。その場合は、デスクトップにある JMP のアイコンを右クリックし、[管理者として実行] を選択してください。

JMP.PER ファイルが保存されているネットワークの外でノート PC を使って JMP を実行したい場合は、どうすればよいですか。

全員が使えるように单一の JMP.PER ファイルがネットワーク上のフォルダに保存されている場合に、ネットワークに接続していないノート PC 上で JMP を実行したいときは、一時ライセンスを用いて一定の期間だけ JMP を実行できます。ただしその前に、ネットワークに接続した状態でノート PC の JMP を実行して、その JMP が有効な JMP.PER ファイルを参照する必要があります。

1. ノート PC をネットワークに接続します。
2. JMP を起動し、ノート PC の JMP がネットワーク上の最新のライセンスファイルにアクセスしていることを確認します。
3. JMP を終了します。

その後、ネットワークに接続しないで JMP を起動すると、90 日間有効な一時ライセンスを使って JMP が実行されます。90 日が経過したら、再びネットワークに接続する必要があります。

メモ: ネットワークから切断する前に、有効なライセンスファイルを使って JMP を実行する必要があります。ネットワークに接続しない状態で JMP を使用することはできません。

JMP ソフトウェアのメンテナンスアップデートはどこで入手できますか。

メンテナンスアップデートは、JMP の Web サイト (jmp.com/update) で提供されています。

コンピュータに異なるバージョンのJMPを2つインストールすることはできますか。

できます。JMP 17 は、以前のバージョンがインストールされているコンピュータにそのままインストールできます。JMP 17 をインストールしても、以前のバージョンは削除されず、両方のバージョンが実行可能になります。

JMPのバージョンを2つ使用している場合、両方のバージョンのExcelアドインをインストールできますか。

できません。JMP の Excel アドインは 1 台のコンピュータに 1 セットしかインストールできないため、JMP 17 をインストールすると、以前のバージョンの Excel アドインファイルが削除されます。JMP ファイル (.JMP, .JSL など) は、最後にインストールされたバージョンの JMP に関連付けられます。この設定を変更するには、アクティブにしたい JMP バージョンで [ファイル] > [環境設定] > [Windowsのみ] > [関連付けのリセット] を選択してください。

JMPのトライアル版に年間ライセンス版を上書きインストールすることはできますか。

できません。JMP の年間ライセンス版をインストールする前に、トライアル版をアンインストールしてください。そうしないと、システムファイルやライセンスファイルの一部が正しい場所にインストールされない可能性があります。

JMPのライセンスの期限が切れた場合や、もうすぐ切れる場合、誰に連絡すればよいですか。

社内の JMP 管理者またはサポート担当者を通し、SAS 社の営業担当まで新しいライセンスファイルの提供をご依頼ください。

JMPの品質に関するステートメントはどこで見ることができますか。

JMP では、JMP によって生成される結果が正確で信頼性が高いということを可能な範囲で確認できるよう、さまざまな手段を用意しています。顧客による検証や稼動性能適格性確認 (OQ) の作業を支援するため、JMP は、標準技術局の Statistical Reference Data (StRD) に基づいた一連のテストをダウンロードファイルとして提供しています。また、JMP が正しくインストールおよび維持されていることを検証するツールもあります。このツールは、インストールされたファイルすべての整合性を検証し、詳細な結果をレポートします。これらの情報は、JMP の Web サイト (jmp.com/qualitystatement) から入手できます。

JMPで問題が生じた場合、どのように報告すればよいですか。

問題を報告する手段は、いくつか用意されています。jmp.com/support で、自分に合った方法を選ぶことができます。

テクニカルサポートに連絡する際は、次の情報をお手元にご用意ください。

- JMP のサイト番号
- 使用している JMP のバージョン
- グラフィックに問題がある場合は、ビデオカードのメーカーと型番、ビデオドライバのバージョンが必要になります。

JMPのサイト番号はどこを見ればわかりますか。

サイト番号を表示するには、[ヘルプ] > [バージョン情報] をクリックします。

Windows 上の JMP は、どのように PER ファイルを見つけますか。

ソフトウェアデポから直接インストールした場合、次のいずれかの場所に PER ファイルが作成されます。

- JMP:C:\Program Files\SAS\JMP\17\JMP.PER
- JMP Pro:C:\Program Files\SAS\JMPPRO\17\JMP.PER
- JMP Clinical:C:\Program Files\SAS\JMPCLINICAL\17\JMP.PER

ライセンスファイルの場所を指定するよう求められた場合、指定した場所は %APPDATA% 以下のフォルダにある PFS ファイル内に保存されます。JMP の起動時、PER ファイルの検索は以下の順に行われます。

- PFS ファイルで定義されている場所
- ユーザフォルダ：
 - JMP: %APPDATA%\SAS\JMP\17\JMP.PER
 - JMP Pro: %APPDATA%\SAS\JMPPRO\17\JMP.PER
 - JMP Clinical: %APPDATA%\SAS\JMPCLINICAL\17\JMP.PER
- インストールフォルダ

JMP が参照している PER ファイルの場所は、次の 1 行のスクリプトでログに出力することができます。

```
Show License Path();
```